

第2期伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）案に対する 意見公募の結果について

市では、「第2期伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂するに当たり、改訂案に対する市民の皆さまの御意見等をうかがう意見公募（パブリックコメント手続）を実施しました。

その結果、3通（26件）の御意見をいただきました。それらの御意見と市の考え方は以下のとおりです。御意見につきましては、原文のまま掲載しています。

1 結果概要

（1） 募集方法等

募集期間	令和6年12月16日（月）～令和7年1月22日（水）
意見提出方法	郵送、FAX、メール又は持参
改訂案の公表場所	企画政策課（大口庁舎）、地域総務課（菱刈庁舎）、市ホームページ

（2） 意見数等

提出数	3通（FAX0通、持参2通、郵送0通、メール1通）
意見数	26件

（3） 項目別の意見数

項目	件数
全般に関する御意見	2件
第1章 基本的な考え方	3件
第2章 伊佐市の現状と課題	4件
第3章 取組方針と具体的な施策	3件
取組方針1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする	6件
取組方針2 都市部とのつながりを築き、伊佐への新しいひとの流れをつくる	1件
取組方針3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1件
取組方針4 ひとが集う、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる	6件
第4章 具体的な取組とSDGsとの関連性	0件

【全般】

No	御意見	市の考え方
1	<p>全体的にデジタル総合戦略を入れてありますが、実際どれくらいデジタルについて学んでいて取り組む予定なのかがわからず、少し怪しんでしまうものを感じました。</p> <p>デジタルに取り組むなら、早急にホームページの改善、LINEの活用、どちらの庁舎にいつてもつながるようなシステム、書かない窓口、電子図書の導入など、とにかく弱者目線でのデジタル活用をもっとするべきだとおもいますが、デジタルにつよい人を集めて課をつくったり、計画していくなどされてるのでしょうか。議会で電子図書の導入など予定にないときいたので、この計画はどれくらいすすめられるものなのか心配になりました。</p>	<p>本市におけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）※¹については、令和5年2月に「伊佐市デジタル・トランスフォーメーション推進全体方針」を定め、「将来にわたって市民一人ひとりが幸せを感じることができる伊佐市」を実現するため、全庁的に自治体DX※²を推進しています。</p> <p>ご指摘の窓口業務についても、市民サービスの向上のための検討を進めているところです。</p> <p>なお、業務の推進については、外部の有識者等の意見をいただきながら取り組んでいます。</p> <p>ご意見については、今後の市政運営において参考とさせていただきます。</p>
2	<p>働く場所は外にいても、伊佐に住んでもらい、安心してらせる、女性、高齢者、障害者、だれでもひとりでも安心なまちのほうにもう少しちからをいれてもらえたらと坎じます。</p>	<p>「安心なまち」については、本市の最上位計画である「第2次伊佐市総合振興計画（以下「総合振興計画」という。）」において、将来像に「笑顔あふれ 一人ひとりが 幸せ感じるまち」を掲げ、基本目標の一つとして「安心なまちづくり」に取り組んでいるところです。</p> <p>ご意見については、今後の市政運営において参考とさせていただきます。</p>

※1 デジタル・トランスフォーメーション（DX）…デジタル技術を活用し、社会をより良いものと変革すること。

※2 自治体DX…行政手続のデジタル化や行政内部のデータ連携などを通じて、住民の利便性向上と業務効率化を図ること。

【第1章 基本的な考え方】

No	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
3			基本的な考えを読むと、男女共同参画の面から徹底的にすることが課題を解決できると思うので、デジタルに加えて男女共同参画を重点にお願いしたいです。	男女共同参画については、総合振興計画において、基本目標の一つである「笑顔で創る明るいまち」の中の主な取組として「男女共同参画の推進」に取り組んでいるところです。 今後も引き続き市民、企業、関係団体等の方々のご理解・ご協力をいただきながら男女共同参画の推進に取り組んで参ります。
4			昨年3月に男女共同参画推進委員から提言を出していますのでそちらも入れてほしかったです。	ご意見については、今後の市政運営において参考とさせていただきます。
5	2	5 推進体制と進捗管理	外部委員は、どのように決めているのか現在の委員名を記載してほしい。	外部委員については、「伊佐市総合振興計画審議会条例」第4条で定められた、学識経験者、女性代表者、農業団体代表者、教育委員、商工会代表者、観光協会代表者、福祉団体代表者、社会教育団体代表者の各団体から推薦された委員で構成しており、多方面からのご意見をいただいています。 委員名の記載については、県の戦略にも記載がないことから準拠して記載していません。

【第2章 伊佐市の現状と課題】

No	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
6	3		人口について、市職員で市外から通っている人がいるが、何名いるのか市は把握していると思うので教えてください。諸事情があると思うが、本人家族が住めば人口増、経済効果も上がる、又、新規採用職員も基本市内に住むようにする	市の職員に限った公表は差し控えさせていただきます。また、市の職員であっても政策的なことを理由に伊佐市内の居住を強制することは出来ないと考えます。 ご理解くださいますようお願いいたします。
7	3	1 地方創 生をめぐる 現状認識	3ページの現状認識や課題解決の視点はよくまとめられていると感じました。 環境面はここに必要ないのでしょうか。伊佐はゴミについてが心配です。	生活環境については、総合振興計画において、基本目標の一つである「安全、安心な住みよいまち」の中の主な取組として「生活環境の向上」に取り組んでいるところです。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
8	4	2 課題解 決に必要な 視点 ◆ 経済活 動	11行目「若者、女性、高齢者～」を重点でしていくことが伊佐ではほんとに大事と思いますが、あとから出てくる計画に、ここがほんとにできるのか弱く感じました。	労働力不足の中、女性、高齢者、障がい者など多様な人材が可能な範囲で地域社会へ参画していただけるよう引き続き取り組んで参ります。
9	6	3 総合戦 略における 見直し (3) しご とづくり	6次産業について、これまで取り組んだ事業を教えてください。又具体的な構想はあるのか？メリット・デメリットを明確にし、他の市町にない特色があるのを出していけると良いが <ul style="list-style-type: none"> 米…こうじ、甘酒（山野しょうじょうさんやっているのでは） 大豆…黒大豆茶、納豆 ネギ、カボチャ？ ニジマス…つり掘り 肉（牛・豚）…伊佐市内の公園でBBQ、キャンプ （これは民間の店とタイアップ） 	伊佐米を原料とした商品の開発・販売や店舗等の開業、また伊佐で育てた黒豚を使った料理を提供するレストラン等の取組が行われており、今後もご指摘のように地域の特性を生かした商品開発が求められています。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。

【第3章 取組方針と具体的な施策】

No	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
10	7		若い世代の移住・定住・基幹産業新規事業者研修の機会、資金援助し安定した収入が得られる仕組みを作る 『九州ドラフト会議』というのに伊佐市は参加しているのか？人材確保に風が吹くと思う。	「九州移住ドラフト会議」に本市が参加したことはございませんが、大都市圏等で行われるふるさと回帰フェアや様々な移住フェアに出展し、地方に移住を希望されている方々と出会う機会を設けております。
11	8	取組方針3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	婚姻は自由である。これから選択シングルマザーがいたら手厚く支援をしてほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
12	8	取組方針4 ひとが集う、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる	8ページの(1)①小さな拠点作りがほんとに大事だと思うので、どうか小規模校、菱刈庁舎などは残してください。	本戦略での「小さな拠点づくり」とは、小学校区など、複数の集落が散在する地域(集落生活圏)において、商店、診療所などの日常生活に不可欠な施設・機能や地域活動を行う場所を集約・確保し、周辺集落とコミュニティバス等の交通ネットワークで結ぶことで、人々が集い、交流する機会が広がっていく、集落地域の再生を目指す取組のことです。過疎・高齢化が進む本市において重要な取組であり、今後も校区コミュニティ協議会等の関係機関と連携しながら、持続可能な生活空間づくりに取り組んで参ります。 以上のことから本戦略において庁舎や学校は「小さな拠点」ではありませんが、菱刈庁舎については、これまでもご説明しておりますとおり、今後も庁舎として活用して参ります。また、学校のあり方については、いただいたご意見を参考にさせていただき、教育委員会において検討して参ります。

【第3章 取組方針と具体的な施策】

取組方針1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

No	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
13	9	◆ 目標数値	9ページの市民所得が出されてよかったとおもいます。ここをあげるには、伊佐市の保育士、介護士、エッセンシャルワーカーを市が力を入れて最低賃金千五百円以上、公務員並みにすることでかなりあっぶできるとおもいます。あとででてくる保育士の掘り起こし、女性高齢者、障害者の社会参画も処遇改善をはかり、短時間から正社員制度を伊佐市で改善していくことですすむとおもいます。	ご意見については、今後の市政運営において参考とさせていただきます。
14	10	(1) 地域資源の多面的活用と生産性向上 ① 地域の6次産業化	害獣駆除後は10時まで血抜きをして持って行く事になっている。間に合わない場合も有効活用が出来る様検討してほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
15	10 11		伊佐出身の有名人、ふるさと大使にメディアでさりげなく「伊佐」をPRしてもらおうのはいかがでしょうか。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
16	12		外国から伊佐に住んでいる人達に「相談窓口」等で住みやすい環境を作ってあげる。	国内外を問わず、移住者の方々に とって暮らしやすい環境づくりが必要 であると考えます。 ご意見については、今後の参考と させていただきます。
17	12	(4) 地域産業の担い手の確保と誘致	公営住宅の空きが多いと見受けられる。希望者に対して入居条件等見直して安心して暮せる様に考えてほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
18	12		団地入居者を入れる場合は不備を失くしてから入居してもらおう。安心・安全な環境につながると思われる。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。

【第3章 取組方針と具体的な施策】

取組方針2 都市部とのつながりを築き、伊佐への新しいひとの流れをつくる

No	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
19	13		若い世代への家賃支援等があると住みやすいまちづくりにつながると思われる。(伊佐市の家賃は高いと聞く)	<p>現在、若い世代への家賃支援等はありませんが、若い世代のUIJターン等を推進するうえで必要な支援を行っています。</p> <p>ご意見については、今後の市政運営において参考とさせていただきます。</p>

【第3章 取組方針と具体的な施策】

取組方針3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

No	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
20	17	(1) 結婚・出産・子育ての支援	17ページのICTの導入による子育て世帯等の利便性向上～が少しわかりづらいです。なにをしたら利便性があがるのか教えてください。	<p>現在すでに取り組んでいる事業として、予防接種スケジュール管理や本市が配信する地域情報の確認等がスマートフォン等のできる母子手帳アプリ「母子モ」や、閉庁中も住民票等が取得できる「証明書コンビニ交付サービス」の導入等があります。</p> <p>今後も、来庁することなくインターネットを利用して申請等を行うことができる「電子申請」の導入など、日中仕事をされている子育て世帯等の利便性向上を図って参ります。</p>

【第3章 取組方針と具体的な施策】

取組方針4 ひとが集う、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

No	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
21	21	(3) 安心 な暮らしの 環境の確保	<p>防災について、阪神淡路、東日本、熊本、能登の大震災を検証し、本市に何が足りないのかを認識する作業をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーと連携し、地域にいる専門職（看護師、調理師（炊き出し時によい）、インフラ専門等）を把握して、公助、互助市民全体で訓練するように。 ・地域おこし協力隊員も防災の研修をし活躍する。 ・市議会議員も普段から地域を回り、市民の生活を知り市民と交流し意向を聞き、議会へ届けてください。人口減で定数減を求める市民が多いです。危機感を持ち働いてください。市民の自治会加入をすすめるように。 	<p>現在、住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的として作成する「地域防災計画」や外部からの応援を迅速に受け入れ、情報共有や調整を行うための計画である「受援計画」の見直し等を行っており、相互応援協定を締結している宮城県南三陸町の事例等を参考に大震災の発生に対応できる体制を検証し、計画に反映する予定です。</p> <p>ご意見については、今後の市政運営において参考とさせていただきます。</p>
22	21		<p>避難所の見直しが必要と思われる。</p> <p>1～2日間程度なら生活できるが、長くなると障害者、高齢者には負担が大きと思われる。</p>	<p>避難所の生活環境改善を図るため、防災資機材（簡易ベッド・テント式パーテーションなど）の整備を検討しています。</p> <p>ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
23	21		<p>各自治会で避難訓練が行われているが、慣れが感じられる。訓練のあり方を検討する必要があると思われる。</p>	<p>自治会や自主防災組織による地区防災計画の作成を推進し、地域の実情に即した訓練が実施できるよう検討して参ります。</p> <p>ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
24	21		<p>自治会未加入者の訓練は行われているのでしょうか？</p>	<p>自治会未加入者の防災訓練の参加者は少ないため、毎年9月に実施する伊佐市総合防災訓練へ参加していただくよう、市ホームページや公式ライン等で促して参ります。</p>
25	21		<p>災害時に役立つ蓄電池の補助があると安心して暮らせる。（高額の為）</p>	<p>ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>

【第3章 取組方針と具体的な施策】

取組方針4 ひとが集う、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

No	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
26	21	(3) 安心な暮らしの環境の確保	<p>21ページの安心な暮らしの環境確保に訪問介護の充実などありませんが、大丈夫でしょうか。</p> <p>国は改悪を重ねていて、どんどんつぶれている状況ですが、伊佐市は安心してみんなが暮らせるよう訪問介護に補助をだしたり、訪問介護の回数を減らさないようにするなど、手厚くし、働く人のプロを育て、賃金もあげることが、経済もよくすると思いますが</p>	<p>訪問介護に特化した記載はありませんが、大きな括りで「介護サービスの確保」や「必要な支援を行う」で補完しています。</p> <p>ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>

【第4章 具体的な取組とSDGsとの関連性】

No	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
			御意見なし	